

「げんきのひみつ」

有漢学園 一年 山根 海礼

わたしには、もうすぐ九十九さいになる大きいばあばがいます。大きいばあばのすきなところは、まいにちきれいにおけしょうをしているところと、とくべつなむかしのはなしをしてくれるところです。

とくべつなむかしのはなしをすこしだけおしゃります。大きいばあばが、わかいときにせんそうがありました。ばくだんがおちてきて、とおぐへとばされました。おともだちも、たくさんいなくなりました。かなしいことが、たくさんありました。それでも、今までげんきにいきています。わたしは、大きいばあばがげんきでいきていることが、すごいとおもいます。

げんきのひみつは、たくさんたべることです。大きいばあばは、なんでもたべます。だけですが、こしさかながにがてです。わたしが、「これたべる。」

「なんでもいただくよ。」

といつてくれます。いつしょにおかしをたべます。たくさんジュークのみます。おかしをたべながら、いろんなおはなしをして、いつもたくさんほめてくれるのでうれしいです。それから、うんどうもまいにちしています。はれのひには、おしげるまをつかって、そとにてたくさんあるいています。あめがふついても、おうちのなかでうんどうをしています。

わたしは、大きいばあばが大きです。大きいばあばには、もっともつとながいきしてほしいです。千さいまでいきてほしいくらいです。わたしも、大きいばあばみたいになんでもたべて、たくさんうんどうして、げんきにながいきしたいです。